

京丹波町立瑞穂中学校
校務支援システム導入事業仕様書

平成25年 4月

京丹波町教育委員会

1 概要

- 本仕様書は、瑞穂中学校校務支援システム導入事業として、同校において校務用として利用するためのシステムの導入に関する内容を示すものである。
- ソフトウェアのインストール及び、運用までに必要な設定作業（ユーザ登録作業、ネットワーク設定等）については、支障がないよう、十分考慮して作業を行い、またその費用も積算に含めること。
- 納期について、下記の納入期限までにセットアップ作業も完了した状態にすること。

2 仕様 校務支援システム スズキ校務シリーズ

* 詳細な仕様については別紙のとおりとする。

3 設置場所

- 下記設置場所において、指示された場所に設置を行うこと。

学 校 名	設 置 場 所
瑞 穂 中 学 校	京都府船井郡京丹波町大朴段ノ垣内 6

4 納入期限

- 平成 2 5 年 6 月 1 日まで

5 契約形態

- リース方式による平成 2 5 年 6 月 1 日から平成 3 0 年 5 月 3 1 日までの 5 箇年の長期継続契約とする。なお、長期継続契約に係る取扱については、「京丹波町長期継続契約に関する条例」（平成 1 8 年条例第 2 4 号）及び「京丹波町長期継続契約事務取扱要領」（平成 1 9 年訓令第 1 号）によるものとする。
支払いは、月額払いとする。

6 その他注意事項

- 導入後のソフトウェアのサポート並びに保守については、5 年間とし、賃貸借料の中に含めるものとする。
- 既設の校務用サーバにインストールすること。

仕様内容

校務支援システム 学校サーバ運用

- ◎校務支援の各サービスは、全てのシステムが Web アプリケーションを含まない、Windows アプリケーションにより実現すること。
- ◎セキュリティを考え、全ての処理が同一システム上（例：Ms-Office 等の外部プログラムを利用しない）で行えること。
- ◎導入後5年間は無償でアップデートを行うこと。
- ◎導入後、学校が円滑に校務支援システムが運用できるように、設定の補助、及び操作講習会を実施すること。

基本機能	サービス概要	<ul style="list-style-type: none"> ○名簿情報管理 子どもや先生の名簿情報を入力・管理・印刷が可能な機能の提供 ○出欠席情報管理 子どもの出欠席情報を登録し、出席簿として印刷したり、通知表などに利用する機能の提供 ○成績処理 中学校における日々の成績の管理、テスト結果の分析と通知表作成に向けた評価・評定の作成が行える機能の提供 ○通知表作成 システム上でレイアウトを作成・編集でき、作成したレイアウトにあわせて児童・生徒それぞれの通知表を印刷する機能の提供 ○指導要録作成 名簿情報管理・出欠席情報管理・成績処理・通知表作成と連動し、児童・生徒それぞれの指導要録・抄本を印刷する機能の提供
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校専用の校務支援システムであること。 ○予算、必要度に応じて、各ソフト(機能)を個別に導入できること。 ○ライセンスは学校規模を問わず、学校単位で取得できること。 ○システムのインストールはサーバー機のみで、クライアントには起動用 EXE のみであること。 ○データはサーバー上で一元管理されること。 ○学校内のネットワーク環境において利用できること。 ○使い方ガイドの同梱、ヘルプ機能の充実なども含め利用者にわかりやすいこと。 ○〈名簿連携システム〉により、保健管理ソフトの「えがお」など名簿連携システム対応ソフト間で名簿の連携が図られていること。 ○〈スケジュール・ToDo〉〈校内アンケート〉〈日々の様子〉〈児童(生徒)の履歴〉が標準機能で搭載されること。
	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ○〈職員設定〉により、職員に管理権限の範囲が決められること。 ○〈基本名簿〉、〈職員設定〉には起動認証があること。 ○起動認証には、 <ul style="list-style-type: none"> ①アカウントとログインパスワードを入力する ②ユーザー名を選択して、ログインパスワードを入力する。 ③Windows のログイン名を使用する(パスワードの確認あり) ④Windows のログイン名を使用する(パスワードの確認なし)の4つの方法があること。 ○バックアップは自動的に定期的なバックアップができること。また手動によるバックアップも可能なこと。 ○アクセスログの書き出し機能が有すること。

仕様内容		
その他の	進級処理 学級編成	<ul style="list-style-type: none"> ○進級処理と学級編成は、ナビゲーションにより簡単にできること。 ○CSV形式の名簿データを使った学級編成ができること。 ○学級編成案を、前年度中に作成することができます。
標準搭載機能	基本名簿	<ul style="list-style-type: none"> ○児童(生徒)や職員の登録、転入、転出処理などができること。 ○名簿の登録方法、その他について、 <ul style="list-style-type: none"> ①直接入力による登録ができること。 ②氏名の他、公簿名の登録もできること。 ③次年度に向けての学級編成案を作成できること。
	詳細名簿	<ul style="list-style-type: none"> ○職員に関する「役職」と「担任学級」、その他必要情報の登録ができること。 ○児童・生徒に関する「保護者名」「住所」「在校兄弟」「クラブ」、その他必要情報の登録ができること。 ○詳細名簿の項目や選択肢は、学校独自に追加や編集ができること。 ○住所等の付帯情報の登録は、入力時に選択候補の一覧が表示されるなど入力しやすいインターフェースになっていること。 ○付帯情報の検索ができること。 ○兄弟一括登録の機能を有すること。
	在籍一覧	<ul style="list-style-type: none"> ○学級単位で在籍者や実家庭数を一覧で表示できること。 ○地区、部活動、委員会、誕生日単位で在籍者数一覧で表示できること。
	スケジュール・ToDo	<ul style="list-style-type: none"> ○「今日」「月間」「年間」の行事予定や年休/出張などの予定を登録、表示できること。 ○〈週間簿・時数管理〉が導入されている場合、授業時数、特別活動時数なども確認できること。 ○「月間行事予定表」をCSV形式で書き出しできること。 ○〈ToDo〉は、「個人用」のリストと、職員「共有用」のリストを作成できること。
	校内アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ○職員を対象としたアンケートの作成や集計を行えること。 ○回答状況の確認も行えること。
	日々の様子	<ul style="list-style-type: none"> ○児童・生徒の日常の様子に対するコメントを登録することにより、成績入力時や指導要録入力時に参照することができること。 ○〈名簿情報管理〉が導入されていて、〈写真台帳〉で各個人の写真が登録されている場合は、「写真一覧」画面から児童を選択できること。 ○コメントの読み込み、書き込みができること。
	児童(生徒)の履歴	<ul style="list-style-type: none"> ○登録されている児童(生徒)のデータを個人別に閲覧することができること。

品名：名簿情報管理

規格：小中学校専用の校務支援システムであること。子どもや先生の名簿情報を入力・管理・印刷可能なこと。
全てのシステムがWebアプリケーションを含まない、Windowsアプリケーションであること。
「出欠席情報管理」「成績処理」「通知表作成」などの、他ソフトを個別に購入することができ、連携ができること。

写真台帳	児童（生徒）・職員の顔写真を登録・削除ができること。
	写真の登録は「写真登録・編集ナビ」で簡単にできること。
	登録に使用する写真は、個人写真、集合写真のどちらでも可能なこと。
	登録できる写真は「JPEG形式」「PNG形式」の写真であること。
	デジカメやスキャナからも登録できること。
	集合写真から登録する場合、切り抜き加工ができること。
	学級の写真一覧を印刷できること。
名簿レイアウト	レイアウト編集機能で、印刷する名簿の書式を自由に簡単に作成・編集することができること。
	作成する名簿の種類は、「学級名簿」「職員名簿」「交流学級名簿」「学校・学年名簿」「選択肢名簿」「個票」「ラベル」「賞状」「ハガキ」などがあること。
	印刷する用紙サイズはA3、B4、A4、B5が選択できること。
名簿印刷	<名簿レイアウト>で登録されている名簿を印刷できること。
	印刷したい学年、学級を選択できること。
	印刷プレビュー機能を有すること。

品名：出欠席情報管理

小中学校専用の校務管理システムであること。子どもの出欠席情報を登録し、出席簿として印刷したり、通知表などに利用できること。

規格：全てのシステムがWebアプリケーションを含まない、Windowsアプリケーションであること。
「名簿情報管理」「成績処理」「通知表作成」などの、他ソフトを個別に購入することができ、連携ができること。
システム外のソフトウェア（ワープロソフト、表計算ソフト）などを利用しないこと。

出席簿	出席簿の書式と同じ入力インターフェースで、現在の手書き方式からの移行が容易なこと。
	出欠席区分（「病欠」「出席停止」「遅刻」など）とその理由（「かぜ」「発熱」など）を入力することができること。
	出欠席区分ごとの理由を学校独自に追加・編集できること。
	登録された出欠席情報からかぜ・発熱など詳細な理由を簡単に集計できること。
	入力する今日からの表示と今月の1日からの表示を切替ることができること。
	個人の出欠席入力状況が一目でわかること。
	連続欠席者の表示に関する設定ができ、注意すべき事がわかりやすいこと。
	出欠席理由等を出欠席区分ごとに集計して表示できること。
	授業日数が自動的に計算されること。
	出席簿の印刷ができること。その際、出席率が表示できること。
	出欠席情報欄が空欄になっている「手書き用印刷簿」の印刷が可能なこと。
	出席日数や欠席日数の学期合計、年間合計を表示・印刷できること。
	各地の出欠席記号に対応が可能なこと（できない場合、費用がかかる場合もあります）。
	日単位の出席簿のほか、時間単位の出席簿にも対応できること。
学年学級単位で休業日の設定ができること。	
出欠状況	学校全体の欠席人数や欠席率を表示、印刷できること。
	欠席者情報を一覧で表示、印刷できること。
	学級ごとの感染症欠席者数を表示、印刷できること。
	長期欠席者の一覧を表示、印刷できること。
	個人の出欠状況を表示、印刷できること。
	皆出席者を簡単に抽出できること。
期間、出欠席区分・理由などで絞り込む詳細な検索ができること。	
入力状態一覧	校務支援システム管理者が、学校全体（各学年各組毎）の出席簿の入力状況が確認できること。

品名：中学校成績処理

全てのシステムがWebアプリケーションを含まない、Windowsアプリケーションであること。

中学校用の成績処理ソフトであること。中学校における日々のテスト結果の分析と、通知表作成に向けた評価・規格：評定の作成が行えること。

「名簿情報管理」「出欠席情報管理」「通知表作成」など、他ソフトを個別に購入することができ、連携ができること。

補助簿	提出物や見取りの状況などから日々の学習の成績を観点別に入力できること。
	評価対象の追加、編集、削除を簡単にできること。
	成績の入力は、「得点」、「記号」から選択できること。
試験入力	<入力方法ガイド>などがあり、わかりやすいインターフェースであること。
	「技術」と「家庭」で別々に得点を入力する、にチェックすることで「技術」と「家庭」で別々に得点を入力することができること。
	観点別配点ができること。
	得点入力後のセルの移動方向を、横方向または縦方向から選択できること。
	表計算ソフトなどから、点数をコピー&ペーストができること。
	キーボードで[*]を入力すると、選択されているすべての観点到「欠席」が入力されること。
	各観点で満点の場合、キーボードで[/]を入力すると、観点ごとに設定されている満点と同じ数字が入力されること。
評価評定作成	特別支援学級の生徒も、交流先の普通学級と同様に成績を入力することができること。
	学校現場で行われている「評価の観点ごとの総括」や「評定への総括」の方法に準じていること。
	評価規準に合わせた観点別評価ができること。
	観点別学習状況の評価ができること。
	入力されたテストや学習成果物に、見取りの状況などを加え、到達度による評価が行えること。
	各授業の担当職員を登録できること。
	「補助簿」「試験入力」のデータのうち、評価・評定の計算対象に加えるものを選択できること。
	自動計算された評価評定を手動で変更できること。
	評価評定に反映させたい学習成果物は見取りの状況などについて、成績を入力できること。
	学期末評価を行う際の各項目にかける<重み付け>を変更したり、評価基準を変更したりできること。
	学期末評価は、設定されている評価基準により自動作成されること。
学年末評価を表示できること。	
学期末と学年末の評価評定を表示できること。	

	<p>前学期の評価・評定と比較ができること。</p> <p>評価・評定に使用する合計の計算方法として、 ①<到達度>合計点を100点満点に換算し、到達した到達度の基準から評定をつける。 ②<素点合計>入力されている得点を計算し、設定した合計点の基準から評価をつける。があること。</p> <p>評定計算方法として、 ①評価記号を数値化して、その合計に応じて評定をつける。 ②「評価計算方法」と同じ方法で評定をつける等、実際に学校現場で行われている評価評定の方法に準じて行うことができること。</p> <p>学期末や学年末の評価基準を設定することができること。</p> <p>特別支援学級の児童も、交流先の普通学級と同様に評価・評定が作成できること。</p>
試験集計	<p>選択した試験について生徒一人一人の得点や偏差値、順位などを一覧表示できること。</p> <p>度数分布グラフ、度数分布表、%度数分布グラフを表示できること。</p> <p>度数分布グラフや度数分布表の刻み幅は任意に変更できること。</p> <p>度数分布グラフ、度数分布表、%度数分布グラフの人数をダブルクリックすることにより、指定範囲に含まれる生徒の一覧を表示できること。</p> <p>度数分布グラフ、%度数分布グラフでは、生徒が含まれる下位の階級から、指定した階級数をまとめて表示することができること。</p> <p>個人単位で選択した試験の得点や偏差値、順位などを表示できること。 レーダーチャート（教科ごとの学年偏差値）や観点別到達度（教科ごとの観点別到達度も表示できること。</p> <p>個人単位で選択した試験の推移グラフ（得点、偏差値、順位）を表示できること。</p> <p>選択した試験の順位に基づいて上位から10%ごとに区切り、その区切りの中の最高点を表示できること。</p> <p>個人ごとの試験結果を配布用に印刷（1枚の用紙に複数人数分印刷）することができること。</p> <p>集計結果はCSV形式で書き出しができること。</p> <p>特別支援学級の生徒も、交流先の普通学級と同様に試験の集計ができること。</p>

品名：通知表作成

小中学校専用の校務管理システムであること。作成したレイアウトにあわせて児童・生徒それぞれの通知表を印刷できること。
 規格：全てのシステムがWebアプリケーションを含まない、Windowsアプリケーションであること。
 「名簿情報管理」「出欠席情報管理」「成績処理」などの、他ソフトを個別に購入することができ、データの連携ができること。
 システム外のソフトウェア（ワープロソフト、表計算ソフト）などを利用しないこと。

通知表レイアウト	ナビゲーションにより、通知表のレイアウトを作成できること。
	通知表レイアウトの変更が自由にできること。
	必要な情報の差し込みをレイアウト上に自由に設定ができること。
	通知表レイアウトに編集機能（画像、枠線、直線、表）があること。
	左右中央配置機能があること。
	「学級担任」「教科担任」が、夫々成績入力するのに適した入力対象選択インターフェースになっていること。
	入力の際に顔写真を参照できる機能を有すること。
	入力の基準となる、「評価」と「得点」の換算ができること。
	観点の重み付けができること。
	評価の換算点や評定規準となる評価点を任意に設定できること。
	評価入力欄をすべて「B」で入力するボタンがあること。
	評価入力欄が「B」以外を色づけで分かりやすくする機能があること。
	「名簿情報管理」「出欠席情報管理」「成績処理」各ソフトが導入され、データが入力されている場合、ボタンクリックにより自動的にデータが読み込まれ通知表に反映出来ること。
	所見等は「日々の様子」を参考に作成できること。
	特別支援学級の生徒の成績は、所属学年の通知表レイアウト用の成績、特別支援学級の通知表レイアウト用の成績の2種類入力できること。
成績一覧表印刷	学年・組ごとの印刷ができること。
	一覧表の種類は、「必修教科」「総合的な学習の時間の記録」「行動の記録」「特別活動の記録」「総合所見」などがあること。
	「必修教科」には前学期との差を記号で表示可能なこと。
	成績一覧表の項目を自由に選択して印刷できる機能を有すること。
通知表印刷	作成したレイアウトにあわせて、児童（生徒）の通知表を個人単位、クラス単位、学年単位で印刷することができること。
	特別支援学級の生徒も、交流先の普通学級と同じ通知表を印刷できること。

品名：指導要録作成

小中学校専用の校務支援システムであること。

全てのシステムがWebアプリケーションを含まない、Windowsアプリケーションであること。

規格：「名簿情報登録」「出欠席情報管理」「成績処理」「通知表作成」という、他ソフトを個別に購入することができ、連携ができること。

システム外のソフトウェア（ワープロソフト、表計算ソフト）などを利用しないこと。

指導要録入力	「通知表作成」から学習や行動の記録、出欠席の記録などを自動的に読み込めること。
	「出欠席情報管理」から、出欠席の記録を読み込めること。
	所見、活動の様子などは通知表から読み込み、編集できること。
	所見等は「日々の様子」を参考に作成できること。
	指導要録入力画面から、直接データを入力できること。
	入力された評価を自動的に総括する「評定入力補助機能」を有すること。
	指導要録入力で良く使う文章を、定型文としてあらかじめ登録し、入力の際に使えること。
	小学校版では、5・6学年に「外国語活動の記録」があること。
指導要録一覧表印刷	学年・組ごとの印刷ができること。
	一覧表の種類は、「必修教科」「総合的な学習の時間の記録」「行動の記録」「特別活動の記録」「総合所見」などがあること。
	成績一覧表の項目を自由に選択して印刷できる機能を有すること。
指導要録印刷	文部科学省で示されたレイアウトにあわせて児童・生徒それぞれの指導要録を印刷できること。
	文部科学省の様式と違う自治体については、カスタマイズできること（別途費用がかかる場合があります）。
	卒業生向けの抄本が印刷できること。
	指導要録入力で作成されたものを、学級や児童・生徒を選択して印刷することができること。
	学籍の記録について印刷することができること。
	新1年生や転入生も、基本的な情報を読み込んで印刷できること。
	過去年度の指導要録の印刷もできること。
指導要録は、他ソフトを介さず、直接印刷できること。	